

シリーズ

海外・現場
最前線からの
便り



✈️トルコ最大の都市
イスタンブール

経済・文化・歴史の中心地であるイスタンブールは、旧市街がユネスコの世界遺産として登録され、訪れる観光客はなんと

日本とトルコの絆と経済分野の協力強化に向けて

年間2,000万人弱（トルコ全体では5,000万人強）。歴史的な建造物の他、アジアとヨーロッパを隔てるボスポラス海峡の美しい景色、世界三大料理の一つに数えられるトルコ料理、バザールでのショッピングなど、豊富な観光資源を持つ魅力たっぷりの街です。猫の楽園としても知られ、街路だけでなくレストランや駅の改札、モスクの中など至る所でくつろいでおり、見ているだけで癒やされます。



イスタンブールの町並み

✈️日本とトルコの友好の歴史



市内の猫

トルコは親日国というイメージを持たれている方も多いのではないのでしょうか。日本とトルコの外交関係は1924年に樹立され、外交関係樹立100周年を迎えた2024年は、200を超える記念行事がトルコで開催され、12月には秋篠宮皇嗣同妃両殿下が公式訪問されるなど、イスタンブール総領事館としても多忙な一年を過ごしました。

両国の友好の歴史は19世紀後半まで遡ります。オスマン・トルコ皇帝の使節団が軍艦エルトゥールル号と共に派遣され、明治

在イスタンブール日本国総領事館 領事

町田 豊



天皇に拝謁した帰路、時は1890年、現在の和歌山県東牟婁郡串本町にある紀伊大島付近で台風に遭遇、座礁し、残念ながら587名が犠牲となりました。そんな中、串本町の住民の必死の協力で69人が救出され、日本海軍の巡洋艦でトルコへ送還し、義捐金も多数寄せられました。

物語はこれで終わりません。エルトゥールル号事件から95年後の1985年、イラン・イラク戦争中に、イラクがイラン領空の全航空機を攻撃対象にすると発表、これによりテヘラン在留の日本人が孤立しました。トルコ政府は日本の要請に応じてトルコ航空機2機をイランに派遣、イラクの攻撃設定期限間際で、200名以上の日本人が無事に脱出しました。脱出後、トルコ航空が日本人を救出してくれた理由を記者に問われた当時の駐日トルコ大使は、「私たちはエルトゥールル号の借りを返しただけです」と答えたそうです。この2つの出来事は、両国の友好の歴史を象徴するものとして語り継がれ、2015年には日土合作の映画が公開されました。

また、現代においても、地震国という共通点を持つ日本とトルコは、大地震の際には助け合ってきました。

✈️ 両国の経済連携強化と日本の食の普及

私はイスタンブール総領事館の経済班として、日本企業のトルコでのビジネス支援や、両国の企業連携、トルコを超えて中央アジアやアフリカなど第三国での共同プロジェクトの促進などに取り組んでいます。中でも力を入れているのは日本食の普及です。人口1,600万人が住むイスタンブールほどの大都市であれば大抵の日本食が手に入る、と思われる方もいるかもしれませんが（私も赴任前はそう思っていました）



両国企業の協業による第三国連携等について意見交換

した。しかしながら、食品輸入に関する厳しい法規制などを背景に、日本食はまだ普及しておらず、一般消費者の認知度も低い状況にあります。そんな中でも、SNSを使った情報発信や、企業とのコラボイベント、生産者と輸入業者のネット



日本企業による式典への出席



法被を着て日本食をPR



同僚と日本食レストラン取材してSNSで広報

ワーク構築支援や通関トラブルの解決など、自身で考えた新しい企画を提案しながら、日本食普及のために日々楽しく業務に取り組んでいます。

トルコ国内では高インフレや政治的な混乱、自然災害などがある一方で、周辺国ではロシア・ウクライナ戦争のほか、シリアやパレスチナ自治区を巡る問題など、日々めまぐるしく変化していますが、先人たちが築いた歴史的な友好関係を土台に、日本とトルコの経済連携強化の一助となるよう努めてまいります。

✈️ トルコの森林事情

トルコの森林事情に目を向けますと、森林率は約3割、主に黒海、エーゲ海、地中海など沿岸地域に存在しており、木材とし



トルコで寿司と言えば洋風の巻き寿司が主流（味はおいしいです）



最近ではイスタンブール市内にラーメン店も出現



コンビニではおにぎりが売られるように

てはアカマツやカラマツが多く利用されています。農業大国であるトルコは、木材自給率もほぼ100%を達成しており、森林の99%が国有林であることが日本とは大きく異なりますが、山間部の高齢化や労働力の減少は日本と共通の課題です。

森林を巡る近年のトレンドは森林火災です。今年の夏も多くの場所で火災が発生し、熱波や強風の影響で拡大、多くの死傷者が発生するなど大きなニュースになりました。森林火災は養蜂や畜産をはじめとする農林業、観光業など地域経済に多大な影響を及ぼすため、政府は取組を強化しており、防火用水池や監視塔の整備の他、無人航空機(UAV)や人工知能(AI)の活用を積極的に推進しています。

✈️ 日本の木と言えば桜

イスタンブールには、日本の総合会社である双日などが参画し、官民連携で建設された大規模総合病院があります。その名も「バシャクシエヒル松と桜都市病院」。トルコを代表する松、そして日本を象徴する桜にちなんで名付けられました。



病院に直結する地下鉄構内にある松と桜のオブジェ